



広報



市の木もくせい

FUSSA



平成22年(2010年)

10月1日 No. 816

発行/福生市 編集/企画財政部秘書広報課
〒197-8501 福生市本町5
☎042-551-1511 (市役所代表)
毎月1日・15日発行

ホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

今号の主な記事

2面「あなたの街で夢コンサート」出場・観覧募集 3面公立福生病院職員募集 4面市営住宅あき家入居登録者募集
5面養育家庭体験発表会 6面郷土資料室特別展示 7面公民館講師派遣援助事業 8面図書館秋の読書週間イベント

市制施行40周年記念事業

いきいき わくわく

福生ふれあいフェスティバル

第21回ふっさ健康まつり

☆専門相談コーナー

赤ちゃんからお年寄りまでの健康、育児、お口の健康、くすりからペットまで、専門スタッフによる相談が気軽に受けられます。



☆体験コーナー

身体測定器による健康度体験、妊婦体験ジャケット、電動車いす体験など、普段はできない体験ができ、皆さんの健康と生活を応援します。

☆情報・展示・販売コーナー

作品展示、手工芸品の販売、子育て支援に関する情報など。

問合せ保健センター ☎552・0061

健康増進を一緒に考える「第21回ふっさ健康まつり」、市内の産業の生産向上と経済振興を目的とした「第20回産業祭」、市民の文化活動の発表の場である「第40回福生市市民文化祭」を合同で行なう「福生ふれあいフェスティバル」を、今年も盛り沢山の内容で開催します。

日時10月31日(日)午前10時～午後4時(館内催事のみ雨天決行)

場所中央体育館(文化祭会場は市民会館・さくら会館・茶室福庵)

※駐車場に限りがございますので、徒歩・自転車でご来場ください。

※市営球場改修工事に伴い、今年度の健康まつり・産業祭の会場は中央体育館に変更となります。

問合せ保健センター ☎552・0061

第20回産業祭

☆一般商品、地元生産農作物などの即売コーナー

☆飲食物販売コーナー

☆パネル等展示コーナー

☆それいけ!アンパンマンショー

①午前11時30分～正午

②午後2時30分～3時(予定)

☆ピエロショー

午後1時30分～2時(予定)

☆ミニ遊園地(終日)

ミニSL、カポセル(ふわふわ)

問合せ商工会 ☎551・2927



福生ふれあいフェスティバル開催に伴う中央体育館臨時休館のお知らせ

10月31日(日)の福生ふれあいフェスティバル開催に伴う準備のため、10月29日(金)午後1時～30日(土)終日、及び開催のため31日(日)終日、中央体育館は臨時休館します。この間、使用申請等の業務も行ないません。利用者の方にはご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

問合せ中央体育館 ☎552・5511

SPコードを掲載しています!

目の不自由な方の情報ツールとして開発された二次元シンボル「SPコード」を、紙面に掲載しています。コードは専用の読取装置を使い、記録されている文字情報を音声で聞くことができます。

毎月1日号の奇数面の記事をそれぞれ抜粋してコード化し、触って位置がわかるように半円状の切り込みを入れています。

問合せ秘書広報課広報広聴係 ☎551・1568

【開場式・福生市制施行40周年記念公演】
日時10月30日(土) 午前10時～11時
15分※開場式後に記念公演
場所市民会館大ホール(もくせいホール)
公演(演目)たまっ子座和太鼓ライブ「祝祭」
出演太鼓と芝居のたまっ子座



【展示部門(8日間)】
日時10月23日(土)～11月14日(日)の間の土曜・日曜・祝日(11月13日(土)は除く)
場所・内容7面の別表プログラムをご参照ください。
【展示部門(2日間)】
日時10月30日(土)午前9時～午後5時、10月31日(日)午前9時～午後4時
場所市民会館・公民館、さくら会館
内容植木市、菊花展、美術工芸

市内で文化活動を行なっている団体が活動の成果を発表する、市民文化祭が開催されます。今年度は市民文化祭も節目の40回目をむかえ、併せて福生市制施行40周年を祝う記念公演を行ないます。
展示部門は例年より一日多く開催し、各団体の趣向を凝らした演技で文化の秋を盛り上げます。展示部門も数多くの作品が並び、会場を華やかに彩ります。芸術の秋、ぜひ市民文化祭にご来場ください!



先日、ある会合でお会いした東京藝術大学の先生との意見交換の中で、子どもに対する音楽指導の基本的な考え方をご教授いただきました。
要約すると、「子どもに楽器を与える時は、まず、じっくりとその楽器を見せること。どんな音がするのだろうか、どんな弾き方、吹き方をしようかと、想像させることが大切。すぐに音を出してしまうと、子どもの興味を引き出すどころか、かえって注意散漫な子になってしまうこともあるので、十分に音のイメージを膨らませてから音を出すと、驚くほど集中して耳を澄ませてくれる。」という内容でした。この考え方は、音楽のみならず、様々な分野で活用できると感じました。
福生市では、昨年度から「音楽によるまちづくり」を推進しています。これは、市内の小・中学校の楽器を積極的に整備するもので、第60回福生七夕まつりでも、その楽器を使って市内の中学生が演奏してくれました。
また、10月3日に、福祉センターで開催される福祉まつりでも、福生第二中学校の吹奏楽部の皆さんが演奏してくれる予定です。
当日は、より多くの市民の皆さんに、この素晴らしい音楽に触れていただきたいと思っています。

全力投球

福生市長 加藤育男



敬老大会にて

音楽の力

先日、ある会合でお会いした東京藝術大学の先生との意見交換の中で、子どもに対する音楽指導の基本的な考え方をご教授いただきました。
要約すると、「子どもに楽器を与える時は、まず、じっくりとその楽器を見せること。どんな音がするのだろうか、どんな弾き方、吹き方をしようかと、想像させることが大切。すぐに音を出してしまうと、子どもの興味を引き出すどころか、かえって注意散漫な子になってしまうこともあるので、十分に音のイメージを膨らませてから音を出すと、驚くほど集中して耳を澄ませてくれる。」という内容でした。この考え方は、音楽のみならず、様々な分野で活用できると感じました。
福生市では、昨年度から「音楽によるまちづくり」を推進しています。これは、市内の小・中学校の楽器を積極的に整備するもので、第60回福生七夕まつりでも、その楽器を使って市内の中学生が演奏してくれました。
また、10月3日に、福祉センターで開催される福祉まつりでも、福生第二中学校の吹奏楽部の皆さんが演奏してくれる予定です。
当日は、より多くの市民の皆さんに、この素晴らしい音楽に触れていただきたいと思っています。